

<No13 : 水準測量>

図13 は、水準点Aから固定点(1)、(2)及び(3)を経由する水準点Bまでの路線を示したものである。この路線で水準測量を行い、表13 に示す観測結果を得た。再測が必要な観測区間はどれか。次の中から選べ。

ただし、往復観測値の較差の許容範囲は、 $S$  を観測距離 (片道, km 単位) としたとき、 $2.5\text{mm}\sqrt{S}$  とする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

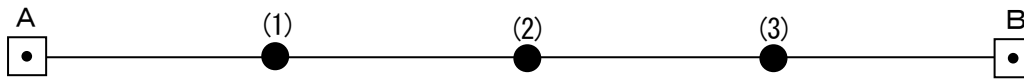


図 13

表 13

観測区間	観測距離	往路の観測高低差	復路の観測高低差
A → (1)	500m	+3.2249m	-3.2239m
(1) → (2)	360m	+0.5851m	-0.5834m
(2) → (3)	360m	-2.6764m	+2.6758m
(3) → B	640m	+2.5432m	-2.5446m

1. A ~ (1)
2. (1) ~ (2)
3. (2) ~ (3)
4. (3) ~ B
5. 再測の必要はない